

報道関係各位**件 名 飯能市農林産物加工直売所の施設整備に係る進捗状況及び事業予算について**

飯能市農林産物加工直売所（以下「加工直売所」という。）につきましては、令和元年度飯能市議会 9 月定例会において、加工直売所隣接地の第一工区に係る整備及び既存の加工直売所施設のリニューアル等に係る予算が承認され、現在施設整備等の運営開始に向けた準備を進めています。

加工直売所は、名栗地区において、観光的視点を取り入れた、地域の自然とふれあい、人々が交流し、北欧の雰囲気を感じることができる空間を提供するとともに、名栗地区の森林を活用した観光、健康増進、教育、体験といった活動と人を結びつける拠点として、名栗地区の地方創生に大きく資する施設となります。

森林を取り巻く環境は、担い手不足や高齢化、経済性などによる林業の不振などにより荒廃が進むなど、厳しい状況にあります。本市にとっては、都心から一番近い本格的な森林を有していること、また森林環境譲与税の創設などにより、森林の利活用を進める大きな好機でもあると捉えています。

このようなことから、加工直売所を、賑わい、交流の場、雇用創出にとどまらず、森林に親しみ、森林を学び、森林を通じた体験ができる拠点施設として整備し、森林の保全・活用への新たな取組を先導的に展開するとともに、その取組を全国に発信していきます。

なお、現在の施設整備に係る進捗状況及び今後の施設整備に係る事業予算については次のとおりです。

1 施設整備に係る進捗状況**（１）施設建設工事等の状況**

加工直売所隣接地の整備につきましては、加工直売所隣接地を 2 工区に分け令和元年度及び令和 2 年度の 2 か年により必要な整備を行います。現在、交流事業エリアとなる第一工区に係る野外ステージ建設工事、更衣室建設工事、調理施設建設工事、給排水設備工事、造成工事などが順次進められています。

また、既存の加工直売所施設につきましても、外壁塗装、施設内の床の研磨・塗装、アプローチ改修、屋外テラスのカウンター設置、照明器具の取替などのリニューアル工事が終了し、今後、観光コンシェルジュ用のカウンター、情報掲示板、陳列棚等の設置を行い、令和 2 年 4 月 1 日には、リニューアルされた施設で指定管理者による運営が開始されます。

〈入口ドア交換・アプローチ改修〉



〈屋外テラスカウンター設置〉



〈野外ステージ建設工事〉



〈野外ステージ建設工事ほか〉



(2) 加工直売所の愛称

運営開始に向け、加工直売所施設、名栗地域及び飯能市のプロモーションを展開し、多くの人々に効果的に訴求でき、名栗地域を訪れる人々や地域の皆様に愛される施設としていくため、加工直売所施設全体に係る愛称の募集を行いました。募集結果を踏まえ、庁内選考委員会で検討した結果、次のとおり加工直売所の愛称を決定しました。

なお、今回決定した愛称は、加工直売所施設全体の愛称とし、現在使われている「やませみ」の愛称は、既存の加工直売所施設の愛称として引き続き使用いたします。

愛 称： ノーラ名栗

選定理由： 加工直売所の基本コンセプトとして、名栗地域の豊かな自然の中で、都会の喧騒を忘れ、サウナテント、グランピング、森林体験などを通して、心身ともに浄化・リフレッシュ・リセットすることで、人が本来持っている純度の高い上質な感覚を取り戻す空間を提供することとしています。今回愛称に選出されたノーラ (nolla) という言葉は、フィンランド語で「ゼロ」を意味します。ここから連想されるイメージが、こうした施設運営のコンセプト等に合致し、覚えやすく、親しみやすい言葉であることから選定されました。また、「名栗」が加わることで、名栗地域の拠点施設として名栗地域を知っていただくきっかけとなることの期待が込められています。

2 今後の施設整備に係る予算

メッツァ、トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園、飯能河原・天覧山周辺を結ぶ都市回廊空間における交流人口の増加の流れを山間地域へと着実につなげ、地域の活性化を図るとともに、本市の重要課題の1つである森林資源の有効活用を推進するなど、名栗地域から始まる地方創生に向け、引き続き国からの地方創生拠点整備交付金、地方創生推進交付金を要望し、施設整備を行います。

【令和元年度3月補正】

総事業費 209,750 千円（第二工区及び第一工区に係る未整備箇所）

〈内訳〉

○施工監理委託料 2,750 千円

○建物登記委託料 1,000 千円

○工事請負費（第二工区） 193,000 千円

（宿泊エリア整備工、管理棟設置工事、トイレ設置工事、給水設備工、排水設備工、電気設備工、木柵設置工、植栽工、歩道整備工、照明設置工、キャンプファイヤー台座工、音響設備設置工、雨水排水施設整備工等）

○機械器具費 13,000 千円

※ 上記3月補正予算については、特定財源として、地方創生拠点整備交付金、地方創生推進交付金等を見込んでいます。

【令和2年度当初予算】

総事業費 23,000 千円（運営開始に必要なとなる消耗品、既存加工直売所施設及び第一工区に係る未整備箇所）

〈内訳〉

○消耗品費 3,000 千円

○工事請負費 20,000 千円

（歩道整備工、植栽工、照明設置工、雨水排水工、休憩用テント等台座工、駐車場舗装工等）

3 今後のスケジュール

令和2年2月	基本協定の締結
令和2年3月	3月議会（補正予算、当初予算）
令和2年3月	地域住民への説明
令和2年3月31日	直営による運営の終了
令和2年4月1日	指定管理者による運営開始（現行施設）
令和2年7月	交流事業エリア（野外ステージ、サウナテント等）の運営開始
令和3年春	宿泊事業エリアの運営開始（予定）

担当者 農業振興課長 木崎

連絡先 Tel042-973-2122